

Trend Micro Deep Security 9.5 SP1

Deep Security Manager のシステム要件

メモリ	<p>8GB</p> <p># Deep Security Manager のメモリを 4GB でご使用いただくことも可能です。以下の URL を参照し注意点をご理解のうえ設定を行ってください。 http://esupport.trendmicro.com/solution/ja-JP/1098828.aspx</p>
ディスク容量	1.5GB(5GB 推奨)
OS	<p>Windows :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Windows Server 2012 (64bit) • Windows Server 2012 R2 (64bit) • Windows Server 2008 (64bit) • Windows Server 2008 R2 (64bit) • Windows 2003 Server R2 SP2 (64bit) • Windows 2003 Server SP2 (64bit) <p>※ エディションが指定されていない Windows 製品は、エディションに関係なく動作を保証いたしません。</p> <p>※ Windows Server 2008/2012(Server Core) には対応しておりません。</p> <p>※ システム要件に記載されていない Service Pack 等でも、要件に記載されているものより新しいバージョンはサポート対象となります。詳細は こちら をご確認ください。</p> <p>Linux :</p> <ul style="list-style-type: none"> • RHEL 5 (64bit) • RHEL 6 (64bit) • CentOS 5 (64bit) • CentOS 6 (64bit) <p>※ VMware ESXi など仮想環境上の OS への導入については、こちら をご確認ください。</p> <p>※ Amazon Web Services や Microsoft Azure などのクラウド環境上の OS への導入については、こちら をご確認ください。</p>
データベース	<ul style="list-style-type: none"> • Oracle 11g • Oracle 10g • Microsoft SQL Server 2014 • Microsoft SQL Server 2012 • Microsoft SQL Server 2008 • Microsoft SQL Server 2008 R2 • 上記のデータベースが動作する Amazon RDS (事前に割り当てられた 20GB ディスクを推奨) <p>※ エディションが指定されていない製品は、エディションに関係なく動作を保証いたしません。</p> <p>※ Deep Security ではマルチバイト文字コードを UTF-8 のみサポートしております。データベースとして Oracle を利用する場合、キャラクタセットを UTF8(NLS_CHARACTERSET= AL32UTF8)に設定する必要があります。</p>
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> • Mozilla Firefox 24 以上 (Cookie を有効にする) • Internet Explorer 9、10、11 (Cookie を有効にする)

※ メモリおよびディスク容量の要件の詳細については、インストールガイドを参照してください。

Deep Security Agent のシステム要件

メモリ	512MB
ディスク容量	500MB (不正プログラム対策保護が有効な場合は 1GB を推奨) Relay が有効な場合は 8GB を推奨
OS	<p>Windows :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Windows XP (32/64bit) • Windows Vista (32/64bit) • Windows 7 (32/64bit) • Windows 8 (32/64bit) • Windows 8.1 (32/64bit) • Windows Server 2003 SP2 (32/64bit) • Windows Server 2003 R2 SP2 (32/64bit) • Windows Server 2008 (32/64bit) • Windows Server 2008 R2 (64bit) • Windows Server 2008 R2 Hyper-V • Windows Server 2012 (64bit) • Windows Server 2012 R2 (64bit) • Windows Server 2012 R2 Hyper-V <p>※ エディションが指定されていない Windows 製品は、エディションに関係なく動作を保証いたしません。</p> <p>※ システム要件に記載されていない Service Pack 等でも、要件に記載されているものより新しいバージョンはサポート対象となります。詳細は こちら をご確認ください。</p> <p>※ Relay 機能は上記 OS (Windows XP を除く) の 64bit OS で動作可能です。</p> <p>Linux :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Red Hat 5、6、7 (32/64 bit) • CentOS 5、6、7 (32/64 bit) • SUSE 10 SP3、SP4 (32/64bit) • SUSE 11 SP1、SP2、SP3 (32/64bit) • Ubuntu Linux 10.04、12.04、14.04 (64bit) • Oracle Linux 5、6 (32/64bit) – RedHat kernel • Oracle Linux 5、6 (64bit) – Unbreakable Kernel • CloudLinux 5 (32/64bit) • CloudLinux 6 (32/64bit) • Amazon Red Hat Enterprise 6 EC (32/64bit) • Amazon SuSE 11 EC2 (32/64bit) • Amazon Ubuntu 12 EC2 (32/64bit) • Amazon AMI Linux EC2 (32/64bit) <p>※ Linux 版 Agent では、ご利用のカーネルもサポート対象である必要があります。サポートするカーネルバージョンについては、以下製品 Q&A をご参照ください。</p> <p>http://esupport.trendmicro.com/solution/ja-JP/1098600.aspx</p> <p>※ Relay 機能は上記 OS (Windows XP を除く) の 64bit OS で動作可能です</p> <p>※ 不正プログラム対策リアルタイム検索機能は、次の OS で動作可能です :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Red Hat 5、6、7 (32/64 bit)、CentOS 5、6、7 (32/64 bit)、SUSE 10 SP3,

SP4 (32/64 bit)、SUSE 11 SP1, SP2, SP3 (32/64 bit)
 ※Deep Security ではマルチバイト文字コードを UTF-8 のみサポートしております。
 Linux / UNIX 環境では OS のロケールを UTF-8(ja_JP.UTF-8 等)に設定する必要があります。
 詳細は以下の製品 Q&A をご参照ください。
<http://esupport.trendmicro.com/solution/ja-JP/1098225.aspx>)

※VMware ESXi など仮想環境上の OS への導入については、[こちら](#)をご確認ください。
 ※Amazon Web Services や Microsoft Azure などのクラウド環境上の OS への導入については、[こちら](#)をご確認ください。

注意事項：

- Windows XP Embedded によるカスタマイズの際には、お客さまの独自の環境で適切な操作を実行し、Deep Security Agent の実行に必要なサービスとポートが有効になるようにしてください。
- Windows Hyper-V 向けのエージェントレス型ソリューションはありません。Hyper-V ハイパーバイザにインストールされている Agent はハイパーバイザのみを保護します。
Hyper-V 上で起動しているゲストイメージを保護するには、Agent を各 Hyper-V ゲストにインストールする必要があります。
- サポート対象 OS であっても以下の環境はサポート対象外となります。
 - Windows Server 2008/2012 (Server Core)
 - Microsoft Virtual Server 2005 R2 SP1
- AIX, Solaris, HP-UX OS に対応する Deep Security Agent は、バージョン 9.0x をご使用ください。
 - 必要なメモリ、ディスク容量は、Deep Security Agent 9.5 patch1 のシステム要件を参照ください
 - Deep Security Agent 9.5 patch1 のシステム要件に記載されている注意事項を参照ください
 - 対応 OS は各 OS の readme を参照ください

Deep Security Notifier のシステム要件

OS

- Windows XP (32/64bit)
 - Windows Vista (32/64bit)
 - Windows 7 (32/64bit)
 - Windows 8 (32/64bit)
 - Windows 8.1 (32/64bit)
 - Windows Server 2003 SP2 (32/64bit)
 - Windows Server 2003 R2 SP2 (32/64bit)
 - Windows Server 2008 (32/64bit)
 - Windows Server 2008 R2 (64bit)
 - Windows Server 2008 R2 Hyper-V
 - Windows Server 2012 (64bit)
 - Windows Server 2012 R2 (64bit)
 - Windows Server 2012 R2 Hyper-V
- ※ エディションが指定されていない Windows 製品は、エディションに関係なく動作を保証いたしません。
- ※ システム要件に記載されていない Service Pack 等でも、要件に記載されているものより新しいバージョンはサポート対象となります。詳細は [こちら](#) をご確認ください。
- ※ Deep Security Notifier は、Deep Security Agent および Deep Security Relay の状態をクライアントマシンに通信する、Windows のシステムトレイアプリケーションであるため、クライアントマシン上で占有するスペースは小さく、必要なディスク容量は約 1MB、メモリの使用容量は約 3MB となります。

Deep Security Virtual Appliance のシステム要件

メモリ	4GB (メモリ要件は保護する仮想マシンの数によって異なります。詳細については、インストールガイドを参照してください。)
ディスク容量	20GB
OS	<ul style="list-style-type: none"> VMware ESXi 5.5 U1/U2、5.5、5.1、5.0 (VMware FT 環境では正しく仮想マシンを認識することができず、正常に動作しません。このためサポート対象外としております。)
VMware Endpoint 保護のサポート対象のゲスト OS	<ul style="list-style-type: none"> Windows 8 (32/64bit) Windows 8.1 (32bit/64bit) Windows Vista (32/64bit) Windows 7 (32/64bit) Windows XP (32/64bit) Windows Server 2003 SP2 (32/64bit) Windows Server 2003 R2 (32/64bit) Windows Server 2008 (32/64bit) Windows Server 2008 R2 (64bit) Windows Server 2012 (64bit) Windows Server 2012 R2(64bit) <p>※VMware Tools Guest Introspection plugin および VMware vCloud Suite でサポートされる Guest OS が DSVA の保護対象 Guest OS となります。最新の VMware Tools Guest Introspection plugin および VMware vCloud Suite のサポート対象は VMWare 社のサポートリストを参照ください。</p> <p>※Windows 8、Windows2012 には vSphere 5.5 以降が必要です</p> <p>※Windows 8.1、Windows 2012 R2 には (vSphere 5.5 - ESXi ビルド 1892794 以降)が必要です。</p> <p>※エディションが指定されていない Windows 製品は、エディションに関係なく動作を保証いたしません。</p> <p>※システム要件に記載されていない Service Pack 等でも、要件に記載されているものより新しいバージョンはサポート対象となります。詳細は こちら をご確認ください。</p> <p>※VMware 社 ESXi のバージョンによって提供される機能に差がある場合がありますのでご注意ください。 詳細は製品マニュアル、または Trend Micro Deep Security Support Web (http://esupport.trendmicro.com/ja-jp/enterprise/ds/top.aspx?cm_sp=Sup--ds--productinfo_b_suptop) でご確認ください。</p>

注意：

システム要件に記載されている OS の種類やハードディスク容量などは、OS のサポート終了、弊社製品の改良などの理由により、予告なく変更される場合があります。

vSphere/vShield対応表

Virtual Appliance	機能	vSphere 4.1/vShield 5.0	vSphere 5.0/vShield 5.0	vSphere 5.1/vShield 5.1	vSphere 5.5/vShield 5.5
DSVA 9.x	不正プログラム対策	×	○	○	○
	FW/脆弱性対策	×	○	○	○
	変更監視	×	○	○	○
	推奨設定の検索	×	×	○	○
DSVA 8.0	不正プログラム対策	○	○	○	×
	FW/脆弱性対策	○	○	○	×
	変更監視	○	○	○	×

注意事項：

VMware のバージョンによって、DSVA およびフィルタードライバーのバージョンが異なります。以下の URL で必要なバージョンを確認の上、ご使用ください。（<http://esupport.trendmicro.co.jp/Pages/JP-2082023.aspx>）